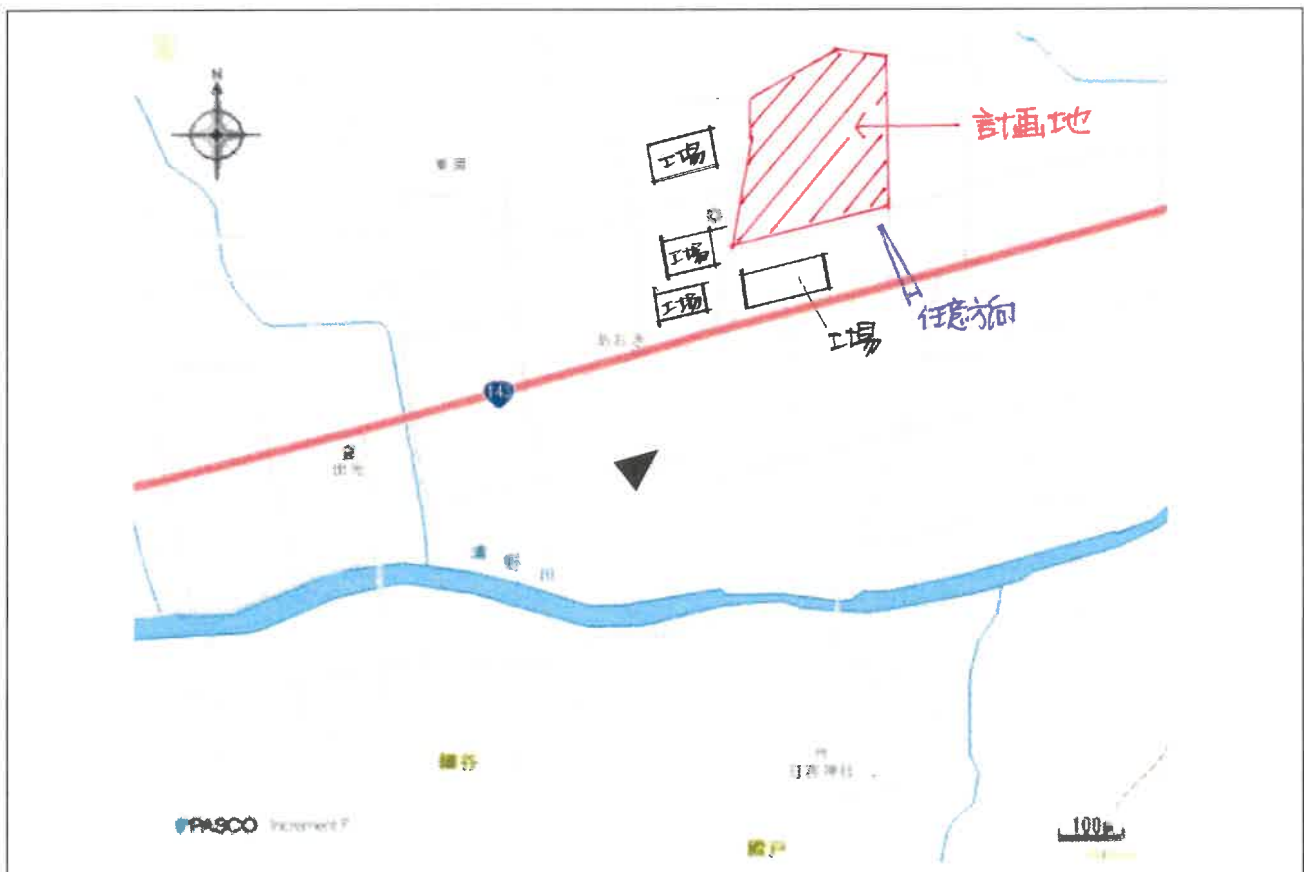




指定事項

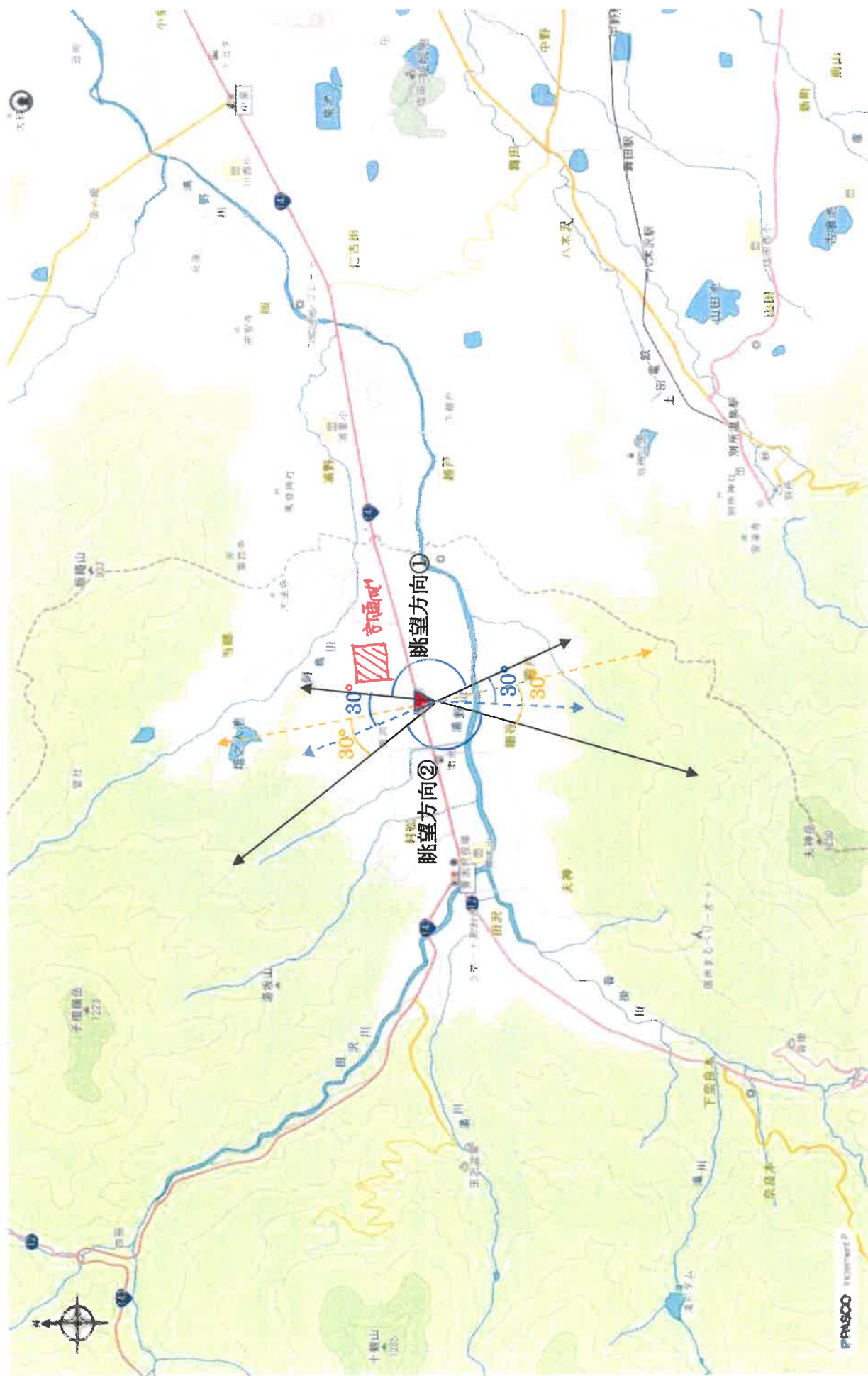
眺望区域	ふるさと公園あおき
所在地	長野県小県郡青木村村松61-1
管理者	株式会社 道の駅あおき
眺望点位置	希望の丘（眺望の築山） 36.370778, 138.141010
眺望方向	360度のどかな田園風景で、各方向に見える青木三山、一部上田市街地を望むことができる。 ① ふるさと公園あおきから殿戸地区方面（南南東）まで ② 夫神岳から子檀嶺岳まで
説明を要する関係者等	青木村役場 商工観光移住課

地図（眺望区域及び眺望点位置）



※ 眺望点より計画地が未踏履なので任意裏にて作図の上 説明

地図 (眺望方向)



眺望方向① (1) ~ (6) パノラマ合成

新田の方向



上記説明



(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏名	青木村役場
	住所	長野県小県郡青木村大字田沢川
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	青木村全戸	
上記を説明対象とした理由	青木村にて企業誘致の推進の為 工業地帯開発事業が開始される事。	
住民説明等の方法	広報あおき1(N0502)に掲載	
実施日時	2021.1.1	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)		
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
1	建物が稼働に騒音はどうか	工場内作業所へ建物から騒音が出る様に配慮願いたい 理解の事。
2	車の渋滞について。	工場へのアクセスに配慮願いたい 駐車場の整備を行う

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



# 広報あおき 1 迎春

No.502  
2021.1.1

## 【主な記事】

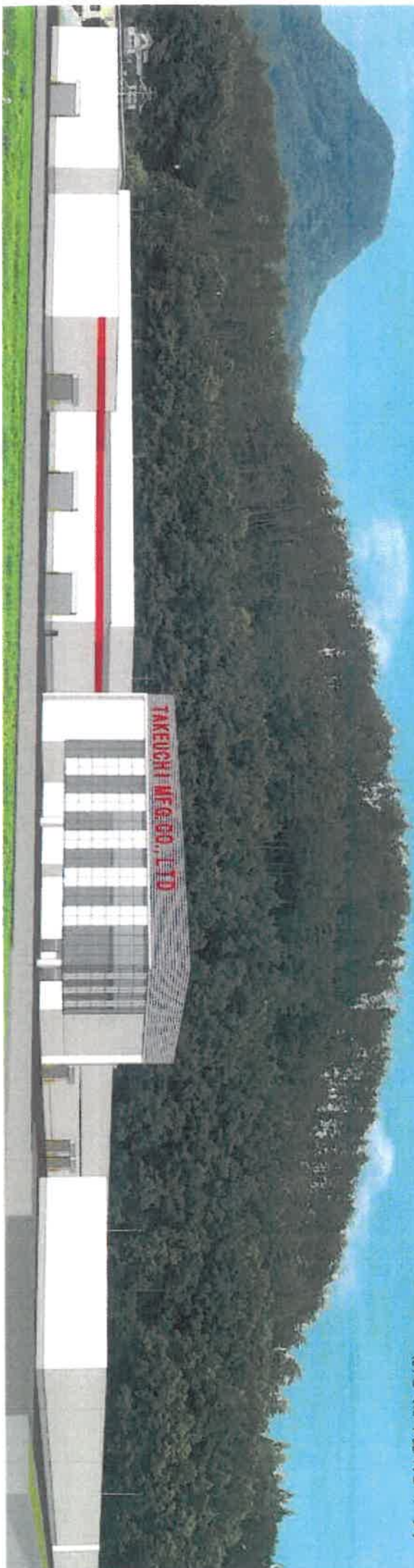
特集 青木村当郷地区岡石工業地整備事業が始まります  
村からのお知らせ  
新型コロナウイルス感染症関連連情報  
フォトdeあおき ほか

— 土地造成工事が着工した

株式会社 竹内製作所

工場完成予想図 ※イメージ図 —

(詳しくは本誌4、5ページ)



# 新年のごあいさつ

あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、新たな夢と希望に満ちた令和3年の新春を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も新型コロナウイルス感染症の流行が収束して、夏にはオリンピック・パラリンピックが開催されるなど、ポストコロナ時代における新しい日本の出発の年となることを期待したいと思います。

村では今年も次の事業を中心に、もっと輝く村づくりを推進してまいります。

## ○新型コロナウイルス感染症対策

昨年はコロナ禍という世紀の災難の中で、村民の皆さんの生命と暮らしをどのようにして守るかに腐心した一年でした。昨年8月に上田圏域はレベル4の新型コロナウイルス特別警報が発令されるなど一時厳しい状況に置かれました。議員の皆さんとも相談し、コロナ関係で痛みや影響を受けた人・組織へ公平な支援ができるよう補正予算を編成させていただきました。感染症予防対策、プレミアム地域消費券の発行、持続化給付金の支給、オンライン学習の環境整備など、25の事業を実施しました。このような中、保育園や小・中学校では、運動会や修学旅行、こまゆみ祭などが実施でき、子どもたちの生涯の良き思い出になったことと思えます。今年も引き続き感染防止に努めると共

に、社会活動、地域経済の回復に一層力を尽くしてまいります。

## ○五島慶太未来創造館の運営

青木村出身で東急グループの礎を築いた五島慶太の軌跡を結集したこの施設は、慶太138回目の誕生日である昨年4月18日に開館しました。慶太の生家をモチーフとした外観で、館外には実際に当時の東京を走っていた東急車両の車輪、館内には慶太の生い立ち・功績の紹介や縁の品々が並び、その力強い生き様が伝わってくるようです。来館を通じて、慶太や東急の関係者、鉄道ファンの皆さんなど新たな交流人口が増え、村が活性化していくことを期待しています。

## ○国道143号青木峠バイパス(新トンネル)の整備促進

令和元年度に事業着手となり現在設計が行われておりますが、新しい時代にふさわしい機能を持ったバイパスの早期着工を、関係機関・関係者と共に国・県へ要望してまいります。

## ○企業誘致の推進

かねてより誘致を進めてきました一部上場企業の工場進出が決定しました。土地の所有者の皆さんのご協力をいただき事業着手となりました。村内の大きな雇用の創出、財源確保など村にとって活性化の大きな源となることが期待されます。

## ○新たな公共交通の仕組み(デマンド方式)の導入

昨年10月1日より、平日昼間のみ事前予約で

利用者が希望の時間・場所で乗降できるドアツードア運行の乗り合い方式を導入しました。乗客数の増加や効率的なルートによる走行距離の減少など効果は如実に現れており、今後もより良い活用方法を検討してまいります。

## ○健康寿命延伸計画の実施

昨年、健康寿命延伸計画を策定しました。これに基づき、健康づくりの普及啓発に努めるとともに、糖尿病等の重症化予防、生活習慣病予備軍の早期発見、高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施等を進めてまいります。

## ○教育環境の充実

GIGAスクール構想を踏まえて整備した、小・中学校ともに一人1台のタブレットや電子教科書等のICT機器の活用を図り、学力の向上を図ります。福祉と教育とが連携し、村が誘致した児童発達支援事業所を含めて支援体制を整え、0歳から大人までの切れ目のない支援の充実を図ります。

少子高齢化、人口減少など小さな自治体にとって厳しい環境の中、時代に即したいち早い行動ができるよう、本年も全力で取り組んでまいりますので、皆様にはより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

青木村長 北村 政夫



# 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎え、皆様には健やかに  
過ごしのことと存じます。

一年前の新年は、新たな夢と希望に満ちた新年をお迎えになったことと存じますが、中国武漢市で新型コロナウイルス感染症の集団感染が起き、瞬く間に世界各地へ拡大してしまいました。

我が国でも卒業や春休み、入学を控えていた学校での休校や職場での対応など大きな変化となりました。

村内でも感染した方がおりますが、シトラスリボン運動の趣旨をご理解いただき誹謗中傷を避け、いたわりの気持ちをお願いいたします。

国内各業界共に大きな影響を受けており、観光業も外国との往来が制限され、国外旅行者も無くなり、国内でも県をまたぐ移動制限などで大きな打撃となりました。飲食業の皆さんも客足が遠のき経営にも苦難を強いられております。

この地球規模となりました災難が一日も早く  
終息し、人々が自由に往来できることを願っております。

青木村に於いても、旧年中は夏祭りの中止など様々な行事に変化がありました。五島慶太未来創造館が開館となり、翁の誕生から生涯に成し遂げた功績や想いなどが展示されております。

多くの方にご来館いただけたらと存じます。  
昨年一年は台風などの自然災害もなく過ごすことが出来ました。しかし、一昨年の19号台風の復旧工事は現在も河川の護岸など行われております。

丸子信州新線の豆石峠の地滑り箇所も通行止めとなっており、多くの皆様にご不便をおかけしてきました。復旧作業も進み4月には通行できる予定です。

また、坂城町に拠点を置く建設機械製造をさ  
れております株式会社竹内製作所様が当郷区  
岡石地区へ新工場の建設をすることとなりました



た。雇用をはじめとした今後の青木村での活性化になりますことと大いに期待しております。  
本年は、村長・議会議員の改選の年でもあります。4月18日(日)が投票日として予定されております。

全国の議会議員選挙では無投票や欠員となる議員のなり手不足が問題となっておりますが、青木村ではこれまで選挙戦となってきました。二元代表制の一翼であります議会です。村民の審判を得た議会を願っております。

定例議会は年4回開催されておりますが、開かれた議会を指す中、開催中はいずれの日も傍聴は可能ですので情報電話にてお知らせしております日程にてお出かけください。コロナ禍でもあり、村も大変厳しい財政運営を強いられておりますが、安心・安全な住みよい青木村を目指し、村行政と議論を重ね取り組んでまいります。

結びに、皆様にはこの新型コロナウイルス感染症の感染防止対応をいただき、この一年がご健勝とご多幸となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

青木村議会議長 宮下 壽章

## 青木村当郷地区岡石工業地整備事業平面図

### 〈青木村当郷地区岡石工業地整備事業概要〉

総事業費	約7億2千万円(用地取得費、設計・施工監理委託料、造成工事費等を含む見込額)
施工面積	約52,000㎡
工期	令和2年11月30日～令和3年11月29日
工種	基盤整備：敷地造成工 35,500㎡、施設撤去工 一式、法面工 1,880㎡ 施設整備：雨水排水路工 1,050m、用水路工 250m 地下浸透式雨水貯留槽 2,100㎡、上下水設備 一式 緩衝緑地 4,800㎡、防火貯水槽40 t × 3基



# 青木村当郷地区岡石工業地整備事業が始

令和元年7月から「青木村当郷地区岡石工業地整備事業」に着手し、用地取得や国・県への諸申請手続き等の準備を進めてまいりましたが、このほど事業実施にかかる各許可をいただき、工事請負会社が決定しましたので、令和3年1月から土地造成工事が始まります。

## 事業実施に至る背景は？

村では日本一住みたい村づくり計画・第5次青木村長期振興計画後期基本計画(平成29年度～令和3年度)重点プロジェクトのひとつとして、「国道143号青木峠新トンネル整備プロジェクト」を掲げ、そのなかで地域に大きな雇用を生み出す企業の誘致を行なうことを位置付けております。平成31年度から長野県が事業主体の国道143号新青木バイパス事業に着手していただいています。この新トンネルが開通すると、上田～松本間で21分間短縮されることから、上田地域と松本・安曇野地域の観光・物流・防災・医療体制の強化や通勤・通学可能エリアになることで、さらなる地域交流が深まることが期待できます。

こうしたなか、埴科郡坂城町に本社のある株式会社 竹内製作所様から事業拡大のため、青木村への企業進出の申し出をいただきました。これを受けて、村松地区の工業団地集積エリアに隣接し、国道143号からのアクセスなどにも優れた好立地の「当郷地区岡石地籍」に工場用地を造成し、株式会社 竹内製作所様を誘致することにしました。これにより、村の産業の拡大、地域経済の底上げ、村の雇用や税収の増を図り、ひいては移住・関係人口の増による村の活性化につなげていきたいと考え、村土地開発公社が事業主体となって土地造成工事を実施することになりました。

## 土地造成工事の完了後は？

令和3年11月末の完成を目途に土地造成工事を進めてまいります。完成後の造成地は株式会社 竹内製作所様が取得され、工場を建設して頂くこととなります。同社は、竹内明雄会長さんが昭和38年に設立した建設機械の開発、製造及び販売メーカーで、ミニショベルの分野では欧州、北米での高いシェアを誇る世界の規模で事業展開する東証一部上場の優良企業です。

## 発注者

青木村土地開発公社

## 設計・施工監理業務委託

株式会社 KRC (本社：長野市)

## 工事請負会社

北野建設 株式会社 (本社：長野市)

造成工事請負金額 434,500,000円(税込)

工事期間中、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、安全に十分配慮しながら進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】 青木村土地開発公社事務局

☎ 50-5005 ☎ 49-0111



〈工事着手前の現況〉

